

「朋第2」

重症心身障害児者が通所できる施設「朋」を日本で初めて開設した、社会福祉法人「訪問の家」が運営する一つの施設「朋第2」を訪問しました。平成12年に開所し、柏陽高校の東側に隣接する綺麗な建物で、約20名のメンバーが日中活動をしています。

最初に、職員から「重い障害のある人たちの個性が地域の中で発揮でき、社会貢献活動に参加することで、人と人が繋がる温かさを感じるような施設にしたい」と熱い思いを聞かせていただきました。グループは「CAN」と「みのり」があり、主な活動はアルミ缶のリサイクル・街のクリーン活動・趣味のサークル・音楽やクッキングなどがあります。また、地域との繋がりとして「ふれあいサロン」やイベントに参加したり、チラシのポスティングや街の清掃などをすることで、防犯や見守りにも貢献していると思う、と謙虚に話されました。部屋ではミーティングの真っ最中でした。



(ミーティング)



(井戸端会議)

この日、アルミ缶のリサイクル活動に同行させていただきました。車椅子の3人のメンバーと職員で、桂台地域のポイントになっているお宅から順次カンを回収していきますが、あるお宅に何うと、家主さんが出てきてくれて、車から降りたメンバーにカンを手渡し、少し先のお宅まで慣れた手つきで車椅子を押して歩いていきます。すると、何人かの方が集まってきて、いつもの井戸端会議が始まりました。その中で、ドライフラワーなどの作品にするお花をいただいたり、出来上がった作品を差し上げたりとメンバーも素敵な笑顔を見せて、協力者との交流を楽しんでいました。文字通り地域に開かれた施設を実感できた一日でした。(大森・寺本)

交通遺児世帯への支援事業のご案内

この事業は、神奈川県社会福祉協議会に設置されている「かながわ交通遺児支援基金」を財源とし、交通遺児や遺児世帯への継続的な援助、激励を行っています。

1 対象

神奈川県内に居住し、交通事故等により、遺児となった20歳未満の子とその世帯

2 交通遺児給付金の種類

- (1) 激励金：50,000円(小学校入学時、中学校入学時、中学校卒業時、高等学校卒業時)
- (2) 見舞金：100,000円(労働災害見舞金の給付金を受けていない交通遺児世帯)
- (3) 栄区社会福祉協議会善意銀行配分：10,000円

3 交通遺児親子交流会事業

交通遺児世帯を対象にした、ディズニーランド親子交流会やコンサートへの招待などを実施しています。

該当となる世帯の受付は、随時行っています。栄区社会福祉協議会まで、お問い合わせください。

本誌は、区民の皆様から寄せられた共同募金の一部を用いて発行し、自治会・町内会のご協力で全世帯にお配りしています。

第10回 さがえ福祉フェスタ

本郷台駅前で開催する介護応援イベントです。

- 日時 10月6日(土) 11:00~14:00
- *小雨決行
- 場所 本郷台駅前広場

みんなで
遊びに来てネ



【編集後記】
地域における高齢者の居場所は、以前から、シニアクラブの活動やサロン事業など色々ありますが、子どもについては、放課後の居場所づくりへの関心が最近ようやく各所で高まってきたように思われます。「こども食堂」や「学習支援」などの検討が行われるようになってきました。しかし、「こども食堂」を始めるにしても、それを一週間のものではなく、継続させたいためには、場所の確保の他に資金とボランティアの確保など幾つかのハードルがあります。地域を構成する全ての団体には、将来を担う子どもが安全で安心して過ごせるように、協力して見守る必要があります。子どもたちの育成は、家庭と学校だけに任せるのではなく、地域みんなで愛し、育てる気持を持つとともに、子どもたちと街で出会うときには、「こどもたち」だけでなく、関係の地域づくりを目標にしたものです。 堀田

- 【栄区社会福祉協議会広報編集委員】
- 豊田(堀田 賢一) 笠岡(田中 貞代)
 - 小宮(谷 浦井 秀治) 本郷中央(長沼 勉)
 - 本郷第三(寺本久美子) いでたち(二村 忠孝)
 - 上郷西(戸渡 弘志) 野菊(横尾美南子)
 - 上郷東(鈴木アヤ子) たんぼ(大森眞由美)

さがえ区社協だより

No.48

発行：社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会
〒247-0005 横浜市栄区桂町 279-29 ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)内
電話 045 (894) 8521 Fax 045 (892) 8974
E-MAIL : office@sakaeku-shakyo.jp URL : http://www.sakaeku-shakyo.jp
平成30年8月1日発行 承認：栄区連第53号

社会福祉法人の地域貢献

社会福祉法が改正されたことにより、社会福祉法人は地域における公益的な取り組みを実施する責務が課せられました。

そもそも社会福祉法人とは社会福祉に貢献するために特別に認可された非営利法人です。したがって、営利を目的とする業務では成り立たないような事業にも、ニーズがあれば率先して取り組んでいくという社会的使命を持っています。しかしながら、その業務をどの程度行うかは各法人の判断にゆだねられており、取り組みに温度差が生じているという課題があります。

大前提としては、地域において少子高齢化や人口減少などを踏まえた福祉ニーズに対応するサービスを充実させることが目的です。

今回は区内の社会福祉法人が取り組む地域貢献活動について紹介します。

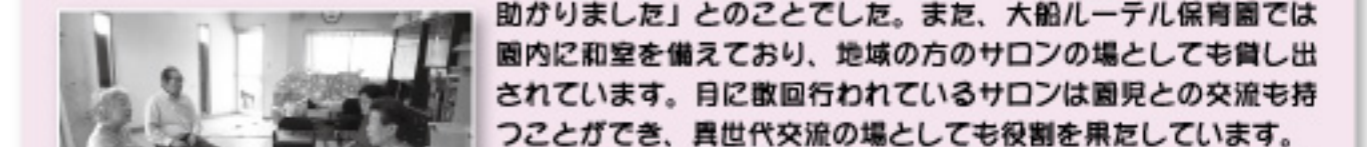


大船ルーテル保育園

大船ルーテル保育園では、月に1度地域の方を対象に昼食会を行っています。区内で同じような昼食会を主催する方々の連絡会に出席した折に、会場までの交通手段がなく、なかなか参加できなくて困っているひとが沢山いる、という話がありました。ちょうどその頃、第三者評価を受けたことがきっかけで、園が所有するバスを有効活用できないかと思い、バスの貸出しを始められたそうです。定期的な利用はサロン活動の送迎で、すでに始めてから12年が経ちました。その他、中途障害者の会など地域の会の送迎の際に利用されています。利用料は特になく、ガソリンの満タン返しガールールとなっているそうです。



田中島園長は貸出しの際、自身がバスの運転もされるので、「運転ボランティアも買って出るつもりでしたが、意外と地域の中に大型車の運転ができる方がいらっしやるので、助かりました」とのことでした。また、大船ルーテル保育園では園内に和室を備えており、地域の方のサロンの場としても貸し出されています。月に数回行われているサロンは園児との交流も持つことができ、異世代交流の場としても役割を果たしています。



(ほほえみサロン)

社会福祉法の改正とともに、法人の特性を生かした地域貢献が責務となっています。まず置かれている地域との顔の見える関係づくりが何より重要であると感じました。これからの種々の取り組みに期待します。

*当事者(利用者や事業者)以外の公正・中立な第三者機関が、当事者の提供するサービスの質等を評価し、結果を公表する制度です。

区社協ホームページでも 事業紹介をしています。詳しくはこちら 栄区社協 検索

視覚障害のある方にも広報紙の情報を提供できるように音声版をご用意しておりますので、ご希望の方は栄区社会福祉協議会までお問い合わせください。

豊田地区

- 1 地区交流事業
 - ・「豊田連合運動会」支援 6月3日(日)
 - ・「シニアクラブ連合文化福祉大会」後援 7月1日(日)
 - ・「豊田ケアプラザ秋祭り」共催 10月7日(日)
 - ・「豊田ふれあいフェスティバル」支援 10月13日(土)
 - ・「豊田みのりの集い」主催 11月10日(土)
 - 2 広報活動
 - ・広報紙「ふれあい豊田」発行(9月・3月・5月)
 - 3 地域福祉事業(助成)
 - ・民生委員児童委員協議会
 - ・NPO法人積み木
 - ・各地域サロン事業等
 - ・豊田シニアクラブ連合会
 - 4 青少年対策事業
 - ・「社会を明るくする運動」協賛 7月16日(月)
 - ・「千秀センター」助成
 - ・「エンジョイパークとよだ」支援 3月23日(土)
 - 5 地域福祉保健計画の推進
 - ・豊田地区支えあい連絡会
 - ・見守り/子ども/ネットワーク委員会
 - ・あいさつ運動推進委員会
 - ・広報委員会
 - 6 研修会
 - ・民生委員児童委員協議会主催の研修会への参加
 - ・連合町内会自治会主催の研修会への参加
 - ・市・区社協開催の研修会への参加
- 会長 堀田 賢一 (Tel 892-4079)

小菅ヶ谷地区

- 誰もがこの住み慣れた町で、安心して暮らせる町づくりを目指し「みんなでつくるふるさと小菅ヶ谷」を合言葉に以下のような項目に取組、福祉活動を行っています。
- 1 地域福祉を推進するための調査及び研究
 - ・在宅の高齢者(70歳以上)の実態把握
 - 2 地域福祉を推進するための事業の企画及び実施
 - (1) 高齢者並びに障がい者福祉のための活動
 - ・見守りを兼ねた配食サービス及び居食懇談会(いちご会事業)
 - ・中途障がい者及び障がいのある高齢者の交流会活動(実習会事業)
 - ・敬老の集い開催(文化事業)
 - (2) 研修会の開催
 - ・「子育て支援講座」
 - ・「防災講座」
 - ・「地域での支え合いに関する講座」など
 - (3) 青少年育成活動や児童福祉の活動支援
 - 3 地域福祉や地域住民の健康づくりを推進するための団体・機関との連携と支援
 - 4 会報「小菅ヶ谷地区社協だより」の発行 3回発行 全戸配布
 - 5 小菅ヶ谷つながるプラン推進会議に参画
 - 6 小菅ヶ谷連合町内会自治会との連携
 - 7 賛助金の募集
 - 8 本会の目的達成のために必要な事業の実施
- 会長 田中 伸一 (Tel 891-4995)

本郷第三地区

- 1 地域福祉活動助成事業(原則月1回開催)
 - ・民生・児童委員協議会
 - ・配食サービス「配食グループ・こだま」
 - ・中途障がい者ミニディサービス「ぐる〜ぶ・なのはな」
 - ・子育て支援「こども広場・モーリーズ」
 - ・保健活動推進委員会「いきいき健康づくり」
 - ・鍛冶ヶ谷・ローレル地区「ふれあいサロン」
 - ・「なでしこサロン」
 - ・「中野富士見・ふれあいサロン」
 - ・「プリンス会館・おしゃべりサロン」
 - ・「みんなの広場・たけのこ」
 - 2 敬老事業
 - ・「慶寿会」の開催 10月28日(日) (本郷小学校) 70歳以上の高齢者、65歳以上の一人暮らしの高齢者を対象とする地区合同懇談会
 - 3 広報活動 広報紙「本三みらい」の発行(年4回、内2回は全戸配布)
 - 4 「本郷第三地区支えあいネットワーク」事業推進 町内会自治会訪問等として、地域福祉保健計画を推進
 - 5 研修会 支えあいネットワーク各分科会との共催研修会への参加 「認知症関連講座」「障がい者関連講座」「防災関連講座」
 - 6 各助成福祉団体との交流会
- 会長 渡邊 すみ江(Tel 891-1640)

上郷東地区

- (運営)
- 平成30年度は、第3期地域福祉保健計画推進の中間点に当たるため、これまでの活動を反省し住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、みんなで支え見守る活動を各種団体とつながりながら進めます。
- (主要活動)
- 1 各町内会、自治会が実施する敬老の集いを支援する。
 - ・町内会・自治会(11組織)が行う敬老事業への助成
 - ・要介護4・5の方の家庭に見舞品の贈呈
 - 2 一人暮らし高齢者、高齢者世帯の方々とふれあい懇親食事を民児協と共催する。
 - ・一人暮らし高齢者との食事会(4地区に分割して実施)の開催
 - ・高齢者バスハイク視察事業の実施
 - 3 各種サロン、健康づくり、見守り活動を支援する。
 - ・上郷東地区の全単位町内会で行われているサロンへの支援
 - ・地域の各種見守り活動・サロン活動(16団体)への助成
 - 4 次世代育成研修会を保護司、更生保護女性会と共催し、育成事業に対し支援をする。
 - ・次世代育成研修の実施
 - 5 地区社協だよりの全戸配布(ダイジェスト版)による広報活動を強化する。
 - ・地区社協だより年2回発行(1回は全戸配布)
- 会長 高橋 勝美 (Tel 891-7012)

平成30年度 地区社会福祉協議会の活動内容

笠間地区

- 1 平成30年度の取組
 - (1) 地域交流事業
 - ① 「笠間地区敬老の集い」の開催
 - ② 各分科会合同意見交換会開催
 - ③ 他団体との交流
 - (2) 福祉事業
 - ① 在宅福祉サービス団体への支援と助成(配食サービスの会 みつ葉)
 - ② 福祉サービス団体への支援と助成(ニコニコさるん、ふれあい懇談会)
 - ③ サロン(A・B・Cブロック)の助成、新規立ち上げへの支援と助成
 - (3) 広報、研修、調査事業
 - ① 広報活動 「ふくし笠間」年4回発行(全戸配布)
 - ② 研修活動 役員対象年2回、住民対象年2回、外部研修への参加
 - ③ 調査活動 住民ニーズ把握、支援活動者の把握(ボランティア募集)など
 - (4) 関係団体と連携強化
 - ① 第3期 かさま・つながるプラン推進会議(各分科会との連携)
 - ② 笠間連合町内会自治会(諸行事への参加)
 - ③ 横浜市笠間地域ケアプラザへの参加協力
 - ④ 小学校、中学校行事への参加
- 2 主な行事日程
 - 地区社協理事会 毎月第4月曜日 笠間地域ケアプラザ(事業執行についての検討と重要決定)
 - 地区社協事務連絡 毎月第2木曜日 笠間地域ケアプラザ(業務連絡、会計処理業務など)
 - 敬老の集い 10月7日(日) 笠間小学校(笠間連合町内会自治会の秋まつりと共催)
 - 研修会 6月10日(日) 笠間地域ケアプラザ(かさま・つながるプランについて)
 - つなぐ共催 8月19日(日) 笠間地域ケアプラザ(住民対象)防災減災について
 - 検討会 11月18日(日) 検討中(役員・住民対象)事例発表・体験講座
 - 2月17日(日) 笠間地域ケアプラザ(かさま・つながるプランについて)
 - ふくし笠間 年4回の発行 全戸配布6月、9月、12月、3月

会長 本田 寛 (Tel 894-0319)

本郷中央地区

- 地区社会福祉協議会と連合町内会自治会との連携を更に密にして、地域住民の安全・安心のため、次の福祉活動に重点を置き、事業を展開してまいります。
- 1 「敬老のつどい」
 - 65歳以上の方々をお招きし、9月17日(月・敬老の日) 栄公会堂にて高齢者の交流のつどいを開催します。
 - 2 「団体活動推進事業」
 - 「三水会」「公田山百合会」「子育て喫茶げんき」「げんき広場」「ふくろうカフェ」「ばん、ばん、ばんだ」「げんき食堂」の福祉団体の活動で高齢者の方々に地域で元気に楽しく過ごしていただけるよう、各団体を支援します。
 - 3 「地域福祉保健計画の推進事業」
 - 支えあい連絡会と協働して「自治会訪問」「福祉講座」「福祉フォーラム」等、地域福祉保健計画推進に取組みます。
 - 4 「広報活動」
 - 本郷中央地区の組織・福祉活動を理解していただきたく、「ふれあい通信」を年3回発行して、全戸配布します。
 - 5 「特志賛助会員の募集」
 - 地域福祉の発展と充実を図るために、賛助会員の募集を行います。
- 会長 竹谷 康生 (Tel 894-3170)

上郷西地区

- 地区社会福祉協議会と上郷西連合町内会が両輪となり、30年度は地域ケアプラザと連携し「地域のサロン強化」や地域福祉の向上に取り組む。
- 具体的には、「上郷西地区つながるプラン推進」の核となり、第3期福祉保健計画3年目に全力で取り組む。
- また上郷西地区の高齢化に対応して「認知症サポーター」の養成や子育て世代の見守り等に取り組む、さらに学校と連携して顔の見える関係づくりにも取り組む。
- 1 自治会・町内会及び地域ケアプラザと連携し、困り事相談ネットワークの構築に取り組む。
 - 2 地域交流事業
 - ① 敬老の集いは、9月17日(敬老の日)に上郷中学校の体育館で70歳以上の方をお招きし上郷西連合町内会と共催で開催する。
 - ② かみころ☆子どもキラキラフェスタのイベントを通じて世代間交流の促進を図る。
 - ③ 世代間交流サロンぬくもりを通じて、地域の皆様との交流の活性化を進める。
 - 3 第3期福祉保健計画の地区別計画には地区社協が積極的に参画し具体的課題に取り組む。
 - ① 見守り検討委員会の委員長には民生委員児童委員協議会会長を兼務する社協役員が担当し、専門的立場で高齢者・子育て世代の支援に取り組む。
 - ② まちの活性化交流委員会には地区社協役員がぬくもり実行委員会を兼務し、イベントを通じて世代間の交流促進と学校との連携に取り組む。
 - ③ 防災・防災委員会では、自治会・町内会と連携し地域の安心安全なまちづくりに取り組む。
 - 4 福祉講座は地域の皆さんが体験を通して楽しめる企画に取り組む。特に健康づくりは地域の高齢者施設と連携し、専門的な講座を進める。美をテーマに「シニアメイク講座」や料理を通じた健康講座等に取り組む。
 - 5 広報活動として、社協の取り組み、つながるプランの活動状況や「サロンマップ」の作成、自治会・町内会が取り組む福祉活動の紹介等地域の皆様への情報発信を、年4回全戸配布で行う。地区社協役員に対する社協の役割について定期的な研修会を開催しレベルアップを図る。
 - 6 各助成福祉団体との交流会
- 会長 塚本 忠志(Tel 891-0981)

各地区社協活動の様子です



本郷中央地区【ミニオリンピック】



豊田地区【豊田連合大運動会】



本郷第三地区【慶寿会】



笠間地区【サロン】



上郷西地区【ぬくもり】



小菅ヶ谷地区【敬老会懇談会】



上郷東地区【自治会懇談会】

送迎サービス事業

- ・利用登録者 278名
- ・送迎ボランティア登録数 19名
- ・送迎回数 延べ1,549回
- ・送迎ボランティア連絡会 5回

地域福祉推進事業

- ・地域ケアプラザ支援
- ・地域支えあいネットワーク参加
- ・生活支援体制整備事業

共同募金・年末たすけあい配分事業

- ・地区社協への助成
- ・社会を明るくする運動への助成
- ・小災害見舞・旅行病人法外支援等

権利擁護事業

- ・栄区社協あんしんセンター
契約件数 30件
相談・訪問等支援回数 1,642回

善意銀行運営事業

- ・寄託金品・物品受付 35件のご寄付
- ・会員等へ配分

ボランティアセンター運営事業

- ・ボランティア情報紙「そら」発行 4回
- ・各種連絡会（配食・ちょこボラ・傾聴）7回
- ・講座（手話入門講座等）延べ83名参加
- ・ボランティア 依頼件数 131件 調整件数 859件
紹介件数 102件 紹介人数 312名

法人運営

- ・各種会員部会・分科会開催
- ・理事会・評議員会等開催

広報啓発事業

- ・広報誌「区社協だより」発行 2回
- ・ホームページによる情報提供 全39回更新
- ・社会福祉大会開催
- ・障害者週間キャンペーン実施

福祉保健活動拠点運営

- ・利用団体 84団体登録
- ・利用回数 延べ3,055回

地区社協支援事業

- ・地区社協研修会
- ・地区社協福祉推進事業助成金

障害児・者支援事業

- ・障害児・者の余暇活動支援
- ・障害者等当事者団体支援

生活福祉資金貸付事業

- ・生活福祉資金相談件数 73件
- ・生活福祉資金貸付件数 11件
- ・総合支援資金相談件数 4件
- ・総合支援資金貸付件数 0件

移動情報センター事業

- ・相談受付数 86件
- ・ガイドボランティア登録数 48名
- ・ガイドボランティア講座 延べ4回

福祉教育

- ・福祉教育出張講座 延べ9校で実施
参加者1,182名
- ・サマーボランティアスクール 延べ75名参加
- ・先生のための福祉講座開催 延べ54名参加

さかえふれあい助成金

- ・総額 6,829,000円 件数 89件
- ・ボランティア団体・障害当事者団体・施設等へ配分

栄区社会福祉協議会は 平成29年度



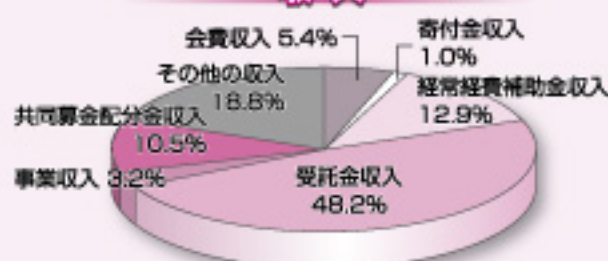
栄区福祉保健活動拠点
マスコミ・キャラクター
そらちゃん

こんな事業を 行いました

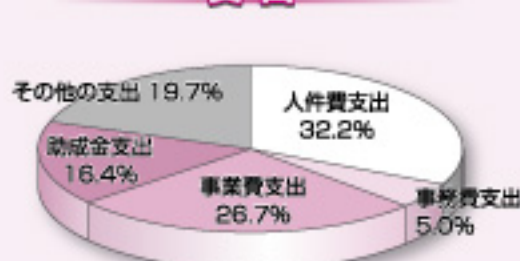
平成29年度決算

収 入	78,359,985円（前年度繰越金21,191,495円含む）
支 出	57,232,912円
次年度繰越金	21,127,073円

収入



支出



〈事業活動による収支における収入・支出の状況〉（前年度繰越金、繰入金収支を除く）

平成29年度善意銀行預託者（順不同・敬称略）

善意銀行にご寄付をいただきありがとうございました。
栄区内のさまざまな地域活動団体への助成財源として、活用させていただきます。

栄ゆもりこすがや
みどり会
長沼ことぶきサロン
栄区民謡連盟
上之町カーミン
栄区舞踊協会
栄区舞踊連盟

谷口パンお菓子教室
神奈川土建一般労働組合横浜戸塚支部
けやきロード本郷台駅前商店会
かつら愛児園
栄区美術家協会
手作りパン教室 ライラック
横浜農協本館農業まつり実行委員会

大船ルーテル教会学校
さかえシニアバンド
みどり会
ハイツ舞い姫
横浜市栄スポーツセンター

藤見美代子
北野 孝子
高橋 勝美
上山由美子

※他、匿名3名の方にご寄付いただいております。



賛助会員のご紹介

平成29年4月1日～平成30年3月31日

栄区社会福祉協議会へのご支援ご協力ありがとうございました

法人賛助会員(順不同・敬称略)

医療法人 若竹クリニック	株式会社 機設エンジニアリング工業	二和印刷 株式会社
医療法人 桑樹会 木村内科・胃腸内科	株式会社 菱美	柏陽薬局
医療法人 慶寿会 小世医院	株式会社 田中造園	橋本歯科医院
医療法人 社団 柴崎内科クリニック	株式会社 利根川工務店	ミスギ薬局
飲食店 浜船	鎌倉ファーマシー大船薬局	みながわ内科クリニック
NPO法人 さかえ区民活動支援協会	宗教法人 正安寺	有限会社 越智産業
江口医院	宗教法人 本郷台キリスト教会	有限会社 カウベルコーポレーション
オオミ薬局 栄店	小規模多機能事業所「晴」	有限会社 木村義肢工作研究所
垣内動物病院	正翁寺	有限会社 久保田塗装工業所
学校法人 森学園	税理士法人 横浜税務会計	有限会社 天神薬局
株式会社 oot	相武エンタープライズ 株式会社	有限会社 ナカムラ生花 笠間店
株式会社 おくろ	大紀工業株式会社 横浜工場	有限会社 みのくち
株式会社 かおる葬祭 大船駅前斎場	デイサービス 散歩道	有限会社 山下工務店
株式会社 グランコート	東京システム工業 株式会社	有限会社 山食
株式会社 シーケン	永井眼科医院	有限会社 よろい

個人賛助会員(順不同・敬称略)

相川 定夫	福 聖 典	片岡 喜久江	古宇田 伸子	新保 孝雄	千葉 幸	原山 征史	宮地 和子	おしゃべり	ツツジの会
青 知子	福塚 早苗	片山 隆一	古賀 朱美	神保 徹介	千葉智恵子	半田 久子	村井 義章	ソフオンカフェ	豊田青年学級
青木 馨	茨木 美子	加藤 昭子	湖上 忍	末岡 雅介	塚本 忠志	平井 薫	村岡てる子	楽 習 教 室	長 沼
青木 喜平	今川 高子	加藤 一正	小島 卓恵	杉浦 仁	辻 興重	平岡 幸夫	村上 清一	笠間通り町	ことぶきサロン
青木 順子	岩崎 博子	加藤 桂治	小島真由生	杉原 利季	堤 亮広	平川 雅清	村田可代子	町 内 会	ニコニコさん
青木 徳次	岩田 美華	加藤 至子	古関美江子	杉本 良一	寺本久美子	広川 英雄	持田 忠	笠 岡 福 住	ハイジ集い処
秋本 洋子	上坂 正茂	加藤 裕之	後藤 誠	杉本須美子	藤堂 勝彦	廣澤 次江	森 博昭	町 内 会	配食サービス
朝比奈和子	上田 恵子	軽野 幸男	後藤彌三郎	杉本まりよ	十亀 雅	廣澤 仁子	森 康司	桂公田町会	グループ
足立 裕	上野 富雄	川久保富江	後藤八重子	鈴木 宏一	戸淵 弘志	深井 淳之	矢島千恵子	おしゃべり	「ゆう」
雨宮 久	上野 雅夫	川島 清治	小林 克己	鈴木 繁	豊 マサユ	深草 伸一	安川 昭造	コスモス会	配食サービスの
荒井 英晴	上野 雅雄	川戸 正己	小林 弘子	鈴木マサ子	中沢 豊治	福岡 雅和	菊澤 恵子	こども広場	み つ 葉
荒井 文夫	上山由美子	河原 文江	小林 博行	鈴木まゆみ	中嶋寿満子	福添 順子	山田 善樹	モーリス	ひばり会
安藤 響子	内田 静男	川村 勝也	小林由美子	須山 麗	長島 飛鳥	福森千鶴子	山本 三樹	子育てサロンの	福祉クラブ
安藤 薫	内村 侃	河村 恒徳	近藤 淳	岡 妙子	長瀬 宏	藤本トミエ	横山たえ子	のーびのび	栄地域協議会
飯塚かづ子	飯見 恒次	川村 徳子	佐井 和枝	岡 亨	長瀬三知江	藤田比呂美	吉田 繁子	運営委員会	準備会
伊賀川洪一	梅原 恵子	菅野 文夫	齊藤 和枝	岡 由利子	長門 昌治	保坂 順演	吉田由紀子	子育て喫茶	おしゃべり
五十嵐千恵子	浦野二三夫	菅野 芳子	齊藤 美緒	岡根 アヤ	中野 久恵	堀田 賢一	吉村 洋子	「げんせ」	おしゃべり
井川 英生	櫻本 友子	神林 澄子	神原千賀子	高木 幹夫	中野ひろみ	堀畑 朋子	米澤 繁一	栄 シ ニ ア	プリンス会館
池田 勝敏	大井志津枝	菊地 敬子	坂本 友子	高城 裕之	西岡 光子	本田 寛	米長 保治	パノングラブ	おしゃべり
池田 鈴枝	大関千恵美	菊地 賢三	坂本アヤ子	高杉 良子	西川 陸男	本田 克子	涌井 秀治	栄ソリスト	ふれあい
池田 宗義	大谷 一枝	木立富美子	櫻井くみ子	高橋 勝美	西澤 愛子	本田 桂子	渡辺 晶	さくらの会	本郷台
池神しづ子	大谷 弥生	北野 優子	佐竹 将幸	高橋 強	西澤 良亮	本田 睦子	渡辺 紘	さくらんぼ	おしゃべり
池永 恵子	大塚 実	木村 利子	佐藤 和子	高橋 尚美	二本木由美子	本間 和男	渡邊すみ江	五月 会	本郷台自治会
石井 浅和	大友 隆行	木村 祐子	佐藤 文俊	滝口さきみ	野村 和代	牧野万里子	綿引 一男	サロンかみの	ふれあい
石井 貞子	大瀧 純江	日下和夫	佐藤 孩子	竹内 勝利	横詰 貴	松浦由美子	綿引 恵子	サロンふれあい	本郷台
石川 晶子	大沼 妙子	日下那佳子	佐藤 有一	多田 裕子	横詰えみ子	松島 泉		三 水 会	本郷中央地区
石黒美智子	大沼 治義	草場加奈子	佐藤 磨子	田所さち子	横本 寿	松田 伯		富田サークル	「町ぐるみ
石澤 洋一	大野 佳子	久保田綾子	佐藤 義雄	田中 伸一	長谷川 宏	松本寿吉郎		き ら ら	健康づくり」
石田 順子	大野大文夫	久保田一成	三宮 剛	田中 すみ	畑中 敏彦	丸山 弘人	B.B.BOX	世交代サロン	運営委員会
石山 俊雄	大橋 敬夫	黒木さち子	塩原 國雄	田中 慎子	畑中実木子	三木 要	あ お ば	ひだまり	実行委員会
石山 正彦	小川 敏夫	黒澤 亮	芝 京	田中 裕海	園部 泰子	三國 隆光	いたちカフェ	い の 山	みどり会
渡部美津子	小田 輝子	黒田 恭子	編村 政榮	田中 文夫	浜口 静子	三國紀代美	い の 山	プラチナ会	ミニサービス
板倉 薫一	折田 節子	藤折 良一	清水 恵子	谷口 澄子	林 芳子	水沼 貞雄	い の 山	第 2 大 船	みんなの広場
市川由美子	貝山 清	藤野 一磨	清水 路子	丹沢 和江	林 眞	三留美美子	プラチナ会	大船パークタウン	たけのこ
伊藤 幸子	榎 智明	藤原 伸司	清水 路子	下桑恵美子	原 美知子	渡谷 進	パノングラブ	自治会	
伊藤 幹生	榎田 光生	小泉 邦広	白川 正信	白川 綾子	千葉 栄子	三原 美子	大船パークタウン	自治会	
稲垣 昭彦	榎田 素子	渡野 正志	白倉 綾子		千葉 廣衛	三宅 清一	自治会		

賛助会員を募集しています 納入方法：栄区社協窓口または、地区社協を通じての納入をお願いいたします。

- 法人賛助会費 一口(5,000円)より
 - 個人賛助会費 一口(1,000円)より
- 皆様からいただいた賛助会費の50%は、身近な各地区社会福祉協議会へ還元され、また50%は、区社会福祉協議会等が行う各種福祉保健活動に有効に活用されています。

平成29年度は賛助会費を次の事業に使わせていただきました

- 7地区社会福祉協議会へ還元
- 障害のある方たちへの支援

平成30年度は次の事業に使わせていただく予定です

- 7地区社会福祉協議会へ還元
 - 障害のある方たちへの支援
- 障害者週間キャンペーンなどの啓発事業を行う予定です。